

今年度の予算について

町長

今後の大型事業等を考慮し、財政シミュレーションを示したい



議員 和則 阿部

加えると、一般財源だけで借金が90億円を超え、貯金が10億円程度よりない自治体は全道的にもあまりなく、財政難が心配される。直近の財政シミュレーションの提示を。

②新たな財政シミュレーションについては、平成30年度以降の大型事業等の実施に関して熟度や優先度などさまざまな要素を考慮した上で内容を精査し、今後示したい。

阿部

①平成30年度
の予算が提示された。昨年の決算で、

監査委員から指摘された補助事業の見直しは今予算に反映されたか。
②今年度の予算では、財政健全化基金からの繰り入れ金3億6000万円を含む基金の取り崩しが4億円を超え、積立金残高は10億円少々となる。積立金は補正予算の財源であり、単年度収支決算時の調整弁であり、有事の際の対処財源としても重要。債務負担行為額を

町長

①平成30年度
予算要求にお

いては、関係団体からの事業計画を精査した上で必要となる補助金額を積算・査定し、予算付けをしている。しかし、現状においては、既設の団体で例年補助金を支出しているものについては、補助金額が前年度と同額となつている補助事業等が多く見受けられるので、充分に内容を精査した中で、補助要綱基準の見直しなど、適正に対処していくよう、引き続き周知徹底を図って参りたい。

阿部

町民の心配にもきちんと説明するために、向こう何年かの大型事業を含めた形での財政シミュレーションを早期につくって

いただいで、町民の皆さんに示すことが大事だと思ふ。ぜひとも健全な財政運営を心がけていただきたい。

子どもたちの未来を拓く英語教育について

阿部

今年度、新たに「子どもたちの未来を拓く英語教育」176

3万円は、本町の今後の地域力を高める施策として期待される。グローバル人材育成策は、日本全

一般質問 阿部和則

国で展開されており、わが町も急速なリゾート化に対応する人材が求められている。大切なのは、英語力を身につけた小学生が中学校、高校、大学へと進み、卒業後に当地に戻ってきていただき、就職し、地域の力になっていただくこと。そのためには今後どのような取り組みが必要になるか。

教育長

小学校の英語教育について

は、これまで教育委員会議の中で協議を行い、目



ALTの英語教育風景

標を俱知安町の未来を拓く英語教育とすることとした。その中には、俱知安町の地域性を生かし、子どもたちが英語に親しみ、楽しく学びながら、コミュニケーション能力を身につけ、将来の俱知安町を支えていく人材に育ってほしいという教育委員会の願いが込められている。本町では急速なリゾート化の進展により、グローバルな人材が求められている。教育委員会では、まずは平成30年度から実施する小学校での英語教育を通し、小中高が連携を密にしながら、この町で学んでいる全ての子どもたちの英語力の向上につながっていくよう取り組みを進めながら、将来の俱知安町を支えていく人材の育成という、この事業の目的の達成に向け、学校をはじめとした関係機関との連携のもと、取り組みを進めていきたいと考えている。